

終業 式辞

本日をもって、72日の平成30年度一学期が終了します。あなたたちの一学期はどうだったでしょうか？

今日も例によって、あなた達の姿で一学期を振り返ってみようと思います。本来は5分ですが、今日は少々長くなる事を、先に言っておきます。

一年生

約4ヶ月前、4月6日金曜日に、元気いっぱいのあなた達188名が入学して来ました。私は毎日西門で登校指導をした後、2年1組から3階、2階、1階へ下がりながら教室を見て周るのを日課にしていますが、毎日1年1組では、「おはようございまーす」と、全校一大きい挨拶の聲が私を迎えてくれました。私は、若い頃先輩の先生達から「森田は、頭がでかい、声がでかい、態度がでかい」と言われていましたが、あなた達の挨拶の声には正直負けます。2組ではあなた達の声とともに上仲先生のにこやかな笑顔が、3組では黒板に印刷したのかと思うような綺麗な字が、まっすぐ並んだおはよう黒板が目に飛び込んできます。4組の廊下では、朝のリーダ会が行われ、隣の5組に行くと、1組と同じくらい大きな声を迎えてくれます。1組が東の横綱なら5組は挨拶番付西の横綱です。階段をへだてて6組に行くと、「じゃんぼ」とスワヒリ語の挨拶をしてくれたことがありました。

私は、「一年生が元気な学校はエネルギーに満ちている学校だ」と話してきました。なぜなら、一年生は「初めての中学校」「初めての英語」「初めての部活」「初めて使う〇〇先輩という呼び方」など、「初めて」がいっぱいだからです。しかも一生のうちで一番成長の早いこの時期、2年生3年生が体も大きく、大人びて感じたのではないのでしょうか。不安になって一年生が縮こまってしまうのは多くの学校で見かける姿でした。しかし、あなたたちは違いました。元気いっぱいのあなた達の教室には笑顔があふれていました。一年生は学校のエンジンです。あなたたちの「元気」が菊西中を推進します。あなたたちに「元気いっぱい一年生」のニックネームを付けます。「元気さ、明るさ」はあなた達の学年カラーです。実はこのニックネームは現在高校1年生の先輩達が中学に入学してきた時に付けたものと同じです。高1の先輩達は、自分達でドンドン盛り上がり、部活や英語の全国大会出場、高等学校全員合格など素晴らしい成果を上げました。あなた達も「元気さ、明るさ」を武器に、目いっぱい自分を伸ばせる学年だと感じた一学期でした。

2年生

朝、西門の交通指導を終えて3階のあなた達の教室へ行くと2年1組ではもう全員が着席して、静かに読書しています。2組、3組と移動しても、落ち着いた姿は変わりません。昨年もそうでした。昨年は「一年生の教室は1階で、昇降口から近いから、私が3階から周っていくと最後に1階に着くから」などたくさんのアドバンテージがありましたが、昇降口から一番遠い3階になっても、私が一番初めに教室を訪れても、あなた達の落ち着いた姿には変わり有りませんでした。昨年度3月

の修了式で、「好奇心いっぱいあなた達に、思いやりの姿が出て来ました。」と話したのを覚えているでしょうか。それに加えてこの1学期にはあなた達の「落ち着いた姿」を見ることができました。理科室を覗いた時の好奇心いっぱい、はしゃぎながら学習しているあなた達と、朝8時前に着席を完了し、静かに読書をしているあなた達。この2つの姿はどちらも重要なのです。しかし、静かにしている必要がある時にはしゃぎまわるのはダメ、そして、好奇心いっぱいに飛び回らなくてはならないときにちんやり座っていてもダメです。あなた達はこの2つを使いこなすすべをこの一学期に着実に身につけてきたと思います。大切なのは「切り替え」です。この「切り替え」をきちんとできると、あなた達持ち前の「好奇心」も「思いやり」も、もっとすばらしいものになります。この夏休みから、部活、生徒会、そして学校行事において、3年生からあなた達へのバトンタッチが進行します。新生徒会長も決まりました。「好奇心と思いやり」のあなたたち2年生は、切り替えを上手にして、来年「菊西中の顔」として活躍してくれることを期待しています。夏休みにはリーダ講習会も計画されていると聞きました。菊西中の顔として独り立ちするための第一歩としてこの夏休みを過ごしてくれると良いと思います。

3年生

私は、1年半前、1年生だったあなたたちが、筑地先生の国語の授業で、修了式前のたった一週間でポストセッションを完成させた姿を見て、あなた達を「パワーの学年」と名付けました。それは2年生の秋、新人戦で110mHに優勝して、逆転団体優勝を叩き出した陸上部の愛斗くん、今年春のしんきんカップで、最終回代打でヒットを打ちノーヒットノーランを防いだ豪くんへと続きました。今年の夏の大会でも野球部の掛西中戦、先行するも逆転され再逆転するも最終回に追いつかれ、特別ルールで延長9回まで、細い体で168球を投げきった凜太郎くん。最後には力尽きましたが立派でした。男子バレー部の大須賀中戦、第1セットを取るも、第2セットを取り返され、第3セットも終始リードされる展開で苦しみましたが、最後にはデュースに持ち込み、26対24で勝ち、3位を掴み取りました。1回戦、原野谷中との対戦で乱打戦に巻き込まれ、初戦敗戦からスタートしたソフト部、東海大会出場を目標にしていたあなた達にはショックな初戦敗退だったのではないのでしょうか。しかし、あなた達はみごとに立ち直りました。敗者復活戦の全てに勝ち、地区3位と県大会出場を決めました。掛西中との激闘を制した男子テニス部は、決勝戦の掛北中との戦いに沈みました。しかし、県大会でリセットして、全国大会の扉を開ける力を充分持っています。男子に続け!!10数年ぶりに県大会出場を掴み取った女子テニス部、同じく久々の県大会切符をパワー全開で、もぎ取った男子バスケット部、県大会へは届かなかったけれど準優勝の女子剣道部、3位の女子バスケット部など、陸上競技以外すべての地区大会が終了した今、県大会出場種目は、団体種目で、女子卓球、男子バスケット、ソフトボール、男子テニスの4種目、個人種目で柔道、女子テニス、男子テニス、女子卓球と陸上競技の5種目です。これは、私が菊西中に赴任してからの4年間で最高の成績です。しかし、3年生の160人という生徒数は4年間で最少です。一番人数の少ないあなた達が、一番大きな結果を残

しました。土壇場に追い込まれた時、底力を発揮するパワーはあなた達の持ち味です。上位大会へ出場する部活は、全国大会の決勝まで1ヶ月、あなた達のパワーが爆発するのを期待しています。

また、この夏休みは高等学校の一日体験入学等進路選択の山場でも有ります。生徒会選挙の時に言いましたが、その学校のスクールカラーは、在籍する生徒が作ります。一日体験では、学校の環境や設備、先生達の授業とともにその学校の生徒が作り出すスクールカラーをしっかりと見てきてください。そして、「この学校なら3年間がんばれる」という視点で志望校を絞りましょう。12月には今度は受験校決定です。第一志望校を受験校とするために夏休みも含めて、少しでも可能性があるのなら、土壇場まであなた達のパワーを信じ、目いっぱい努力して下さい。

普通はこれでおしまいです、今日はもう一つ言わせて下さい。それは先生達についてです。5月の男子テニス部のシード戦を応援に行った時です。決勝戦は掛北中との対戦でした。2ペア同時展開で、2ペアともに簡単に2ゲームを先取しました。簡単に勝てるかなという私の期待を裏切り、その後ファイナルゲームに持ち込まれ、2ペアとも逆転を許してしまいます。試合後、監督の森下先生は私のところへ来てこういいました。「すみません、負けてしまいました。2ゲーム先取してからの逆転負けは選手のせいでは有りません。ベンチの責任です。」この言葉を聞いた時、私は森下先生に名監督としての風格を感じました。

また、本校の先生達は先週金曜日まで生徒が学校に居る間は決して職員室に冷房をかけようとしませんでした。冷房のない教室で頑張っているあなたたちの気持ちを考えての事だと思います。しかし、教室と違って扇風機のない職員室で冷房をかけずに仕事をして先生が熱中症で倒れても困るし、あなた達に渡す成績表など大切な書類が汗で汚れてしまっても困るので、今週の火曜日私は教頭先生に『一学期の残り4日間は昼間から職員室に冷房を入れてください。』と言いました。これが、今週になって職員室に冷房が入った理由です。

試合の結果を選手のせいにしない森下先生、暑い教室で頑張っている生徒の事を思って昼間の職員室に冷房を入れなかった先生達、この一学期は先生達の熱い姿もたくさん見る事ができました。来年3月に引退する私にとって教職人生最後の「一学期」は大変稔り多いものでした。

明日から37日間の夏休みです。毎年言う事は決まっています。「命は全てに優先する」です。部活動の練習等、困難なこと挑戦する事は大切ですが、後先見ない行動は「無謀な猪突」といわざるを得ません。部活動の時の熱中症、自転車乗車時の交通安全等に充分気をつけ、始業式の日あなた達535名全員と再会できる事を願って一学期終業式の式辞といたします。